老年看護学実習	3年・前期	4単位	准教授 石久保雅浩他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210723

1．授業のねらい・概要

高齢者はこれまでの人生の蓄積により得た成熟の面と加齢に伴う衰退の面を持っていることから，本実習では高齢者の成熟の面に視点をあて，病院で医療を受けている高齢者および介護老人保健施設等で生活している高齢者やその家族およびそれらを取り巻く環境について包括的に理解し，高齢者の QOL の維持・向上を図る援助活動を学ぶ。また，実習を通して老年看護の基本的実践能力を養う。

2．学修の到達目標

1．高齢者の特性を踏まえた，適切な態度･対応を身につける。
2．老年期の特徴および高齢者の特性を踏まえ，個別性のある看護過程が展開する。
3．高齢者の療養生活を支える家族への支援および支援システムを理解する。
4．高齢者に関わる専門職チームアプローチの必要性を理解し，看護の役割が考える。
5．自己の看護実践過程を客観的に振り返り，高齢者観，老年看護観を深める。

3．授業の進め方

全体のオリエンテーションおよび各施設の具体的なオリエンテーションを実施する。受け持ち患者は，事前に各病棟の実習指導者および教員が患者選定を行い，患者の承諾が得られた後，教員と学生によって決定する。

4．授業計画（実習/実技）

1．実習期間：3年生　前期4週間
2．実習施設：伊勢崎市民病院，角田病院，介護老人保健施設くろさわ，特別養護老人ホームシェステさとの花，群栄会田中病院
3．実習内容：病院・施設2週間，高齢者1名を受け持ち，個別的な看護過程を展開する。地域社会及び福祉施設，疾病をもつ高齢者や健康な高齢者と交流することで高齢者を包括的に理解する。主体的に健康な高齢者の実態を観察し，自己の知見を客観的に振り返る。行動観察記録を作成し，自己の看護観を深める。
4．方法等の詳細については，老年看護実習要項を参照のこと。

5．成績評価の方法・基準

評価は実習 90%　筆記試験 10%とする。ただし各 60%以上がとれていること。

6．テキスト・参考文献

教科書：ナーシンググラフィカ　老年看護学①　高齢者の健康と障害　メディカ出版
ナーシンググラフィカ　老年看護学②　高齢者看護の実践　メディカ出版
生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能関連図　医学書院

7．準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

実習前には充分な学習を行い，臨地実習に望むこと。

8．受講上の留意事項

2年次までに履修に必要な先修科目を修得済みであること。

9．課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックする。内容の不備なものは再提出を求める。

10．卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合は進級不可となる。

11．実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義を行う。